

JAL 争議、京都でも大衆行動再開！

求められる稲盛和夫元会長への責任追及

3.17 ユニオンネットワーク京都・春闘決起集会開催

3月17日、京都市内で2019春闘勝利決起集会が開かれた。JAL 不当解雇撤回原告団の神瀬麻里子さんが参加し、9か月にわたる大衆行動「自粛要請」に終止符を打ち、全面解決に向けた統一要求実現のために、抗議宣伝行動を再開させていく決意を表明した。

この9か月、支援組織に「行動自粛」を要請して、9回も「特別協議」をしてきたが、「JALはここまでひどい会社とは思っていなかった」と神瀬さん。低水準の回答をやっとしてきて、それを受けたメンバーさえ落とす、採用せずという、信じられない会社の対応のひどさに怒り心頭だ。

神瀬さんからは「3月9日に200人に参加いただき羽田空港で大衆宣伝行動を行ったのを皮切りに、全国的に運動で会社を追い詰めていきたい」と決意表明がなされた。



ストライキで闘う郵政ユニオンや各労組の春闘情勢報告や米軍Xバンドレーダー基地問題、沖縄・辺野古土砂投入問題、若狭・老朽原発再稼働反対闘争など市民運動からの発言もあり、約70人逮捕、未だに8人も不当勾留されている連帯ユニオン関生支部や反弹圧京滋実行委員会からの、抗議宣伝や公判傍聴動員要請などもなされ、ガン

バロウ三唱の後、都大路を雨をついてのデモ行進に出発した。デモ行進途上には稲盛財団や盛和塾（稲盛教の普及組織）の事務所や「稲盛ビル」が林立し、165名のベテランパイロット・CAの不当解雇撤回当時の最高責任者への大衆要求行動が待たれている。

